

水害・土砂災害に強い地域づくりに係るこれまでの取組

浸水警戒区域指定に係る経緯

地区	取組開始年度	主な取組状況
弁天	令和5年度	R05.07.22 出前講座（1回目）
		R05.10.28 出前講座（2回目）
		R06.02.04 住民WG（図上訓練）
		R06.04.14 役員WG（防災マップ・タイムラインの作成）
		R06.06.02 役員WG（防災マップ・タイムラインの作成、防災情報取得方法の確認）
		R06.06.06 避難計画（防災マップ、タイムライン）完成 →全戸配布
		R06.07.31 家屋測量（屋内、屋外）
		R06.10.22 家屋測量（屋内）
		R07.04.19 役員WG（これまでの取組の振り返り）
		R07.06.14 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画の説明）
北原	令和5年度	R05.07.02 出前講座
		R05.09.24 住民WG（図上訓練）
		R06.01.29 役員WG（「大雨時の避難についてのアンケート」の内容に係る協議）
		R06.04.16 役員WG（防災マップ・タイムラインの作成）
		R06.06.19 避難計画（防災マップ、タイムライン）完成 →全戸配布
		R06.08.27 防災マップの更新
		R06.10.27 住民WG（防災マップ・タイムラインの説明会）
		R07.06.04 役員WG（これまでの取組の振り返り）
R07.09.20 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画の説明）		
芦刈	令和6年度	R06.07.28 出前講座
		R06.11.24 住民WG（図上訓練）
		R07.02.23 役員WG（図上訓練の結果報告）
		R07.05.17 役員WG（これまでの取組の振り返り）
		R07.06.22 まちあるき
		R07.10.19 避難計画（防災マップ・タイムライン）完成 →全戸配布 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画の説明）
芦刈 新町	令和5年度	R05.09.24 出前講座
		R06.05.19 出前講座
		R07.08.19 自治会長との協議（防災マップ・タイムラインの作成）
		R07.10.19 避難計画（防災マップ・タイムライン）完成
		R07.11月 水害・土砂災害に強い地域づくり計画 全戸配布 自治会長を通じて住民に周知
		R08.03月 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画の説明）（予定）

～令和5年度	
	■ 浸水警戒区域素案の作成、 ■ 想定水位の設定
令和6年度	
	■ 役員WGで説明
令和7年度	
R07.06.14	■ 浸水警戒区域の住民説明会（弁天）
R07.09.20	〃 （北原）
R07.10.19	〃 （芦刈）
R07.10.25 R07.10.26 R07.10.29	■ 「浸水警戒区域の指定」に関する個別説明会 10.25、10.29：安土コミュニティセンター 10.26：近江八幡市役所 安土支所
R08.1.30	■ 第18回東近江圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会
R08.02（予定）	■ 浸水警戒区域指定（案）の縦覧
R08.02（予定）	■ 市長への意見照会
R08.03（予定）	■ 滋賀県流域治水推進審議会
R08.03（予定）	■ 浸水警戒区域指定の告示



令和5年7月 出前講座
（北原）



令和6年2月 図上訓練
（弁天）



令和7年6月 まちあるき
（芦刈）



令和7年9月 地域づくり計画の説明
（北原）

取組を進める中で出た主な意見や質問（⇒質問に対する県の回答・対応）

【浸水警戒区域について】

- 浸水警戒区域（素案）外の土地と同程度まで嵩上げされた土地は区域外となるはずである。現況に合うように区域図を修正すべき。……（地権者）
⇒〈回答〉現地を確認する。
⇒〈対応〉地盤高データを確認し、当該地について区域外とすることが妥当と判断。浸水警戒区域の図を修正。後日、意見された方へ回答し、了解いただいた。
- 背景の地図を見ると、家の形や水路・畦の位置が現況と異なっている箇所が散見されるため、地図が古いと思われる。区域図を公表するのであれば、可能な限り新しい地図とすべき。……（地権者）
⇒〈回答〉最新の地図に差し替える。
⇒〈対応〉背景の白地図を差し替え、浸水警戒区域の図を修正。
- 生まれた時からこの地域に住んでいる人は、昔は琵琶湖だった干拓地は大雨が降ったら浸水することを知っている。しかし、新しく外から来られる方、新しい世代の方は知らないと思う。そのため、浸水警戒区域に指定し、周知することは良い取組だと思う。……（地権者）

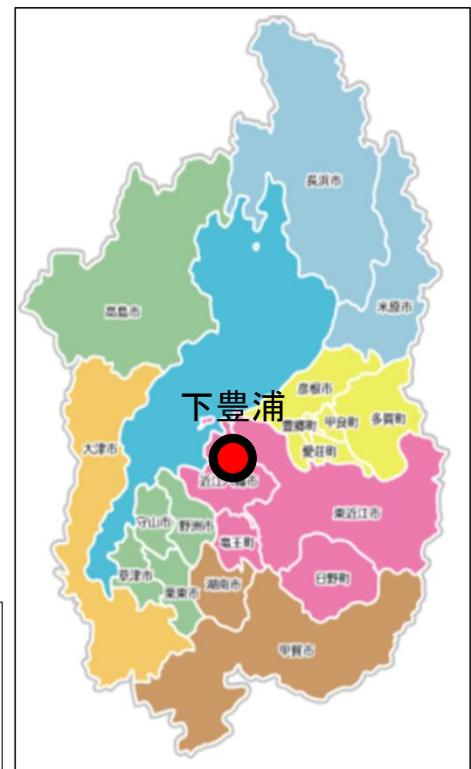
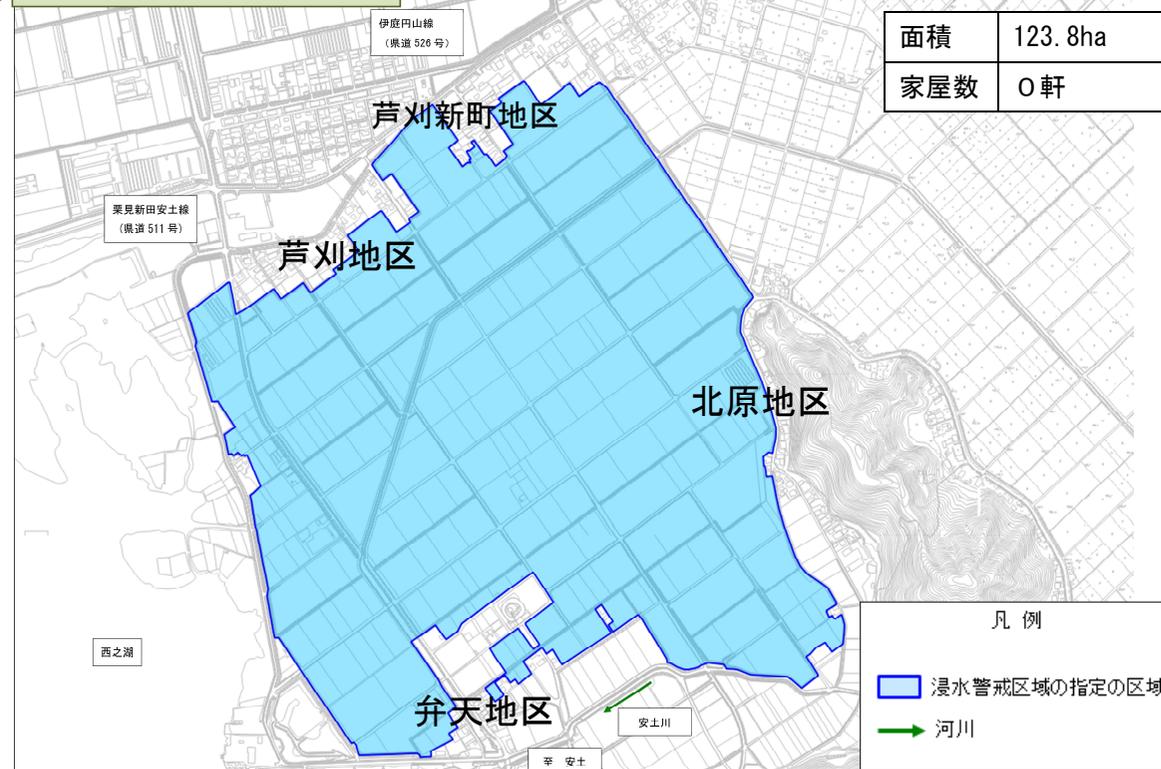
【避難について】

- 市の指定避難所が安土コミュニティセンター（以下「コミセン」）となっているが、コミセン側での水害時の受け入れ体制が十分でない印象を受ける。建物への収容人数、高齢者や子ども、障害者等への配慮ができていないのが気になる。……（北原地区住民）
⇒〈回答〉避難所の運営について直接県から回答するのは難しいが、そのような懸念があることは市へ共有する。現在市でコミセンを安土小学校と同じ敷地内に配置し、移転する計画が進んでいると聞いており、収容人数や駐車スペースに関しては今後改善されると思われる。
- コミセンの移転計画があるが、移転が完了すれば避難所の場所も変わると思う。その場合、避難ルートも見直すのか。……（芦刈地区住民）
⇒〈回答〉コミセン移転に伴う避難ルートの修正についても、県としてもフォローアップしていきたい。

【西の湖の堤防について】

- 西の湖の堤防が切れないように対策してほしい。……（弁天地区住民、芦刈地区住民、地権者）
⇒〈回答〉堤防の件については、土地改良区にも情報共有している。老朽化している排水ポンプについて改修の計画が進んでいると聞いている。
- 浸水警戒区域に指定された場合、沈下している西の湖の堤防を嵩上げするために要する費用へ補助が出るような制度があると良い。……（地権者）

今回指定を予定している区域



令和7年10月 住民説明会
(芦刈)



令和7年10月 個別説明会
(近江八幡市役所 安土支所)



令和7年10月 個別説明会
(安土コミュニティセンター)